

第1章 日本で開催された国際コンベンションの動向

	本章をご利用いただくにあたって - 国際コンベンションの選定基準 -	2 頁
1	国際コンベンションの開催件数・参加者数・会議延日数の状況	3 頁
2	月別国際コンベンションの開催状況 ①	4 頁
3	月別国際コンベンションの開催状況 ②	5 頁
4	部門別国際コンベンションの開催状況	6 頁
5	規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ①	7 頁
6	規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ②	8 頁
7	都市別国際コンベンションの開催状況	9 頁
8	会場別国際コンベンションの開催状況	10 頁

本章をご利用いただくにあたって

本章では、JNTO が、関係府省庁、自治体、コンベンション推進機関、各種コンベンションの主催者、会議場、PCO（会議運営会社）、大学・研究機関などのご協力を得て情報を収集し、そのデータを集計・分析したものです。日本で開催された国際コンベンションの概要を把握する上で唯一の指標となっており、また、本誌の集計は、以下の選定基準に基づいております。

国際コンベンションの選定基準

対象とするもの

【2007 年統計からの新基準】

国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て）が主催する会議で

- 参加者総数が 50 名以上
- 参加国が日本を含む 3 カ国以上
- 開催期間が 1 日以上

【2006 年統計までの旧基準】

- 参加者総数が 20 名以上で、かつ参加国が日本を含む 2 カ国以上の国際会議。
- または、参加者総数が 20 名以上で、かつ外国人参加者数が 10 名以上の国内会議。
- 上記 2 つの条件のいずれかを満たしているセミナー、シンポジウム等。

対象としないもの

- 私企業による企業内会議、大学などの研究機関が行う講義、投資の勧誘を目的とした投資セミナー、観光客誘致を目的とした観光セミナー、学習を目的とする研修会。（新基準、旧基準共に共通）

コンベンション参加者の取り扱い

- 外国人参加者数には、会議出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族を含む。但し、プレス関係者、在日外国人は含めない。（新基準、旧基準共に共通）

コンベンション日数の取り扱い

- 会議日数には、前後の視察旅行、観光旅行を含めず、純粋な会議日数のみを計上。（新基準、旧基準共に共通）

1

国際コンベンションの開催件数・参加者数・会議延日数の状況

— 基準変更による件数等の減少 —

2007年に日本で開催された国際コンベンションの件数は、1,858件であった。JNTOの国際コンベンション統計の基準が2007年のデータより変更となったため、前年に比べ38.2%、1,147件減であり、また、国際コンベンションの参加者総数は、前年に比べ17.8%減、196,988人減の908,078人であった。そのうち外国人参加者数は、前年に比べ4.8%減、5,534人減の

109,720人であった。これは、2007年の訪日外客数8,346,969人のうち、国際コンベンションの参加者が、1.3%を占めたことを示している。

2007年の国際コンベンション1件あたりの平均開催日数は前年に比べ0.51日増の2.67日であった。

図1-1 国際コンベンションの開催件数(1998~2007年)

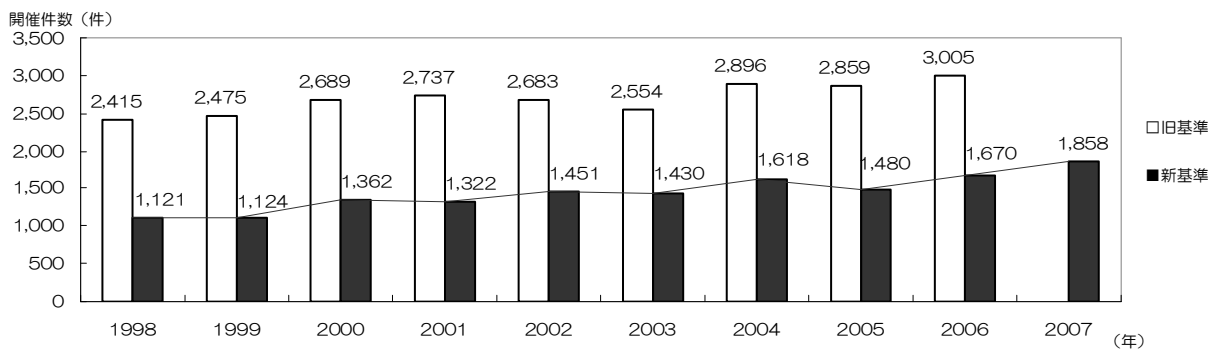


図1-2 国際コンベンションの参加者数(1998~2007年)

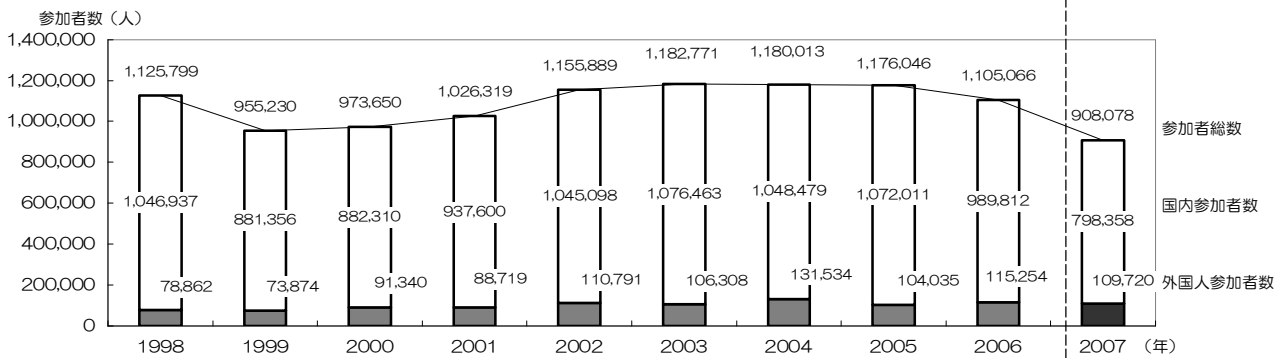
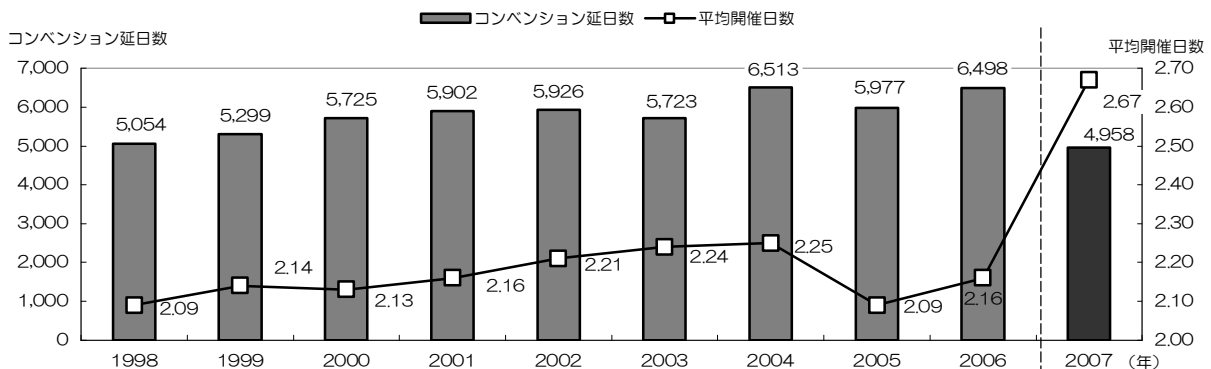


図1-3 国際コンベンションの開催延日数と平均開催日数(1998~2007年)



※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ(国際コンベンションの選定基準)のとおりとなる。

2

月別国際コンベンションの開催状況 ①

— 秋季に多数の国際コンベンションが開催 —

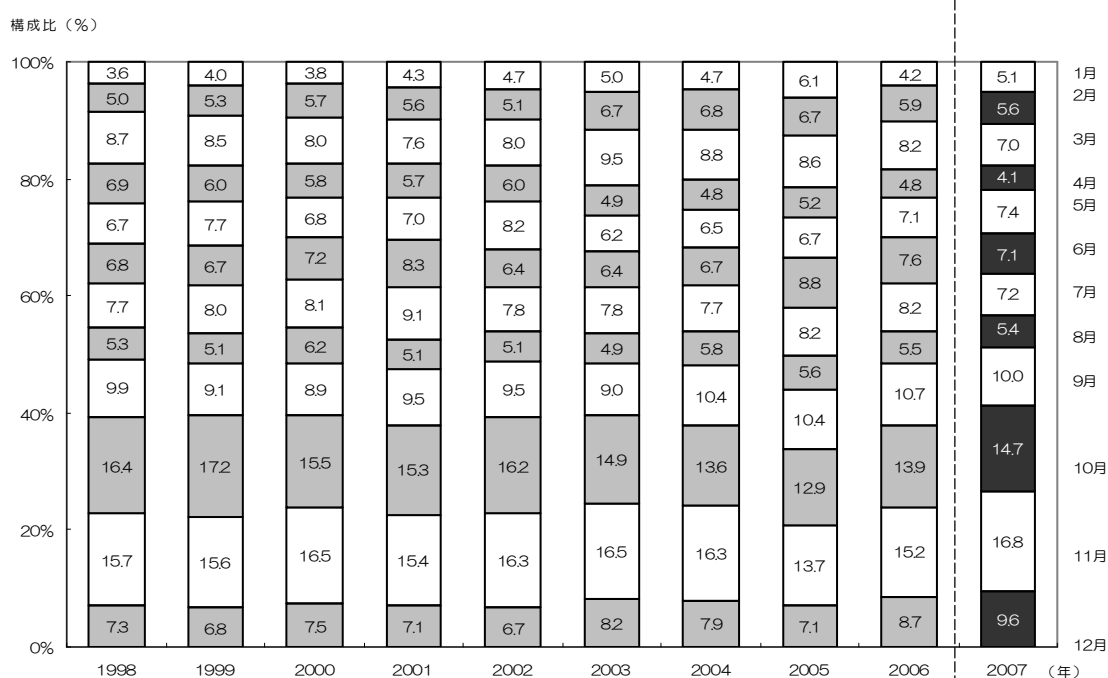
国際コンベンションは毎年、秋の時期に開催が集中するが、2007年においては11月（312件、構成比16.8%）、10月（273件、同14.7%）、9月（186件、同10.0%）と、特に秋季開催の

国際コンベンションが多いのが特徴である。一方、4月（77件、同4.1%）、1月（95件、同5.1%）、8月（101件、同5.4%）、などは比較的開催が少ない。

表1-1 月別国際コンベンションの開催件数（1998～2007年）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
1月	88	99	103	119	126	128	137	173	126	95
2月	121	132	154	155	138	170	197	192	178	104
3月	211	210	215	208	214	244	254	246	247	129
4月	166	148	155	155	160	126	139	149	144	77
5月	163	191	183	191	220	158	188	192	212	138
6月	164	166	193	226	173	163	194	251	230	131
7月	187	199	218	249	208	200	224	234	246	133
8月	127	127	167	139	137	125	167	161	167	101
9月	238	224	238	260	255	229	300	298	321	186
10月	397	426	418	420	435	381	395	369	418	273
11月	378	385	444	421	438	421	472	392	455	312
12月	175	168	201	194	179	209	229	202	261	179
合計	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005	1,858

図1-4 月別国際コンベンションの構成比（1998～2007年）



※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ（国際コンベンションの選定基準）のとおりとなる。

3

月別国際コンベンションの開催状況 ②

— 外国人参加者数・国内参加者数ともに10月が最も多い —

2007年の外国人参加者数を月別に見ると、10月が最も多く18,127人、次いで11月(15,303人)、9月(14,607人)であり、最も外国人参加者数が少ない2月(3,586人)と比べると、月によってかなりの差があることがわかる。

また、国内参加者数については10月が最も多く131,098人、次いで11月(124,407人)、4月(75,430人)であった。

表1-2 月別国際コンベンションの外国人参加者数(1998~2007年)

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
1月	1,441	1,211	2,036	1,936	3,648	3,835	2,404	3,419	3,337	5,223
2月	2,879	2,412	3,955	2,051	3,490	3,609	3,900	3,264	2,859	3,586
3月	4,218	4,684	3,642	5,099	5,801	12,357	6,593	5,279	5,671	7,929
4月	9,514	4,741	6,234	6,575	6,787	3,608	8,521	10,163	4,581	4,052
5月	5,206	7,131	8,048	5,484	10,286	5,335	29,304	9,699	9,042	11,508
6月	3,930	4,398	5,595	6,801	3,804	10,747	8,293	6,966	9,906	7,795
7月	6,581	5,730	12,173	9,936	17,340	8,506	10,751	13,734	11,089	6,215
8月	6,342	6,592	4,792	5,834	10,756	4,351	8,065	6,555	9,270	7,957
9月	8,255	7,136	9,418	9,964	11,203	11,994	10,808	13,874	15,241	14,607
10月	13,191	15,730	16,598	12,869	20,194	24,356	17,038	15,271	20,152	18,127
11月	13,325	9,935	13,632	16,728	12,399	11,856	17,505	10,818	16,330	15,303
12月	3,980	4,174	5,217	5,442	5,083	5,754	8,352	4,993	7,776	7,418
合計	78,862	73,874	91,340	88,719	110,791	106,308	131,534	104,035	115,254	109,720

表1-3 月別国際コンベンションの国内参加者数(1998~2007年)

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
1月	22,277	14,892	16,385	29,180	23,419	36,540	34,192	48,679	23,939	30,215
2月	34,390	37,427	46,545	29,567	46,622	62,056	40,260	36,487	35,577	31,252
3月	49,977	92,938	64,334	62,815	81,982	84,744	78,904	107,175	84,547	56,217
4月	111,452	67,323	93,398	79,762	82,529	90,457	84,566	87,131	49,312	75,430
5月	107,653	82,994	70,303	65,902	89,222	86,147	117,516	80,201	85,010	72,618
6月	62,569	55,256	81,864	80,975	77,336	68,244	86,091	103,996	78,197	50,213
7月	64,653	61,743	52,016	56,485	117,846	65,230	64,621	87,639	88,061	49,861
8月	48,281	50,303	57,435	64,752	66,198	65,033	54,058	68,893	81,365	45,264
9月	139,152	94,718	76,352	97,280	86,152	80,767	102,653	129,193	126,055	75,117
10月	176,799	155,603	154,675	184,380	193,070	243,988	188,098	147,057	152,022	131,098
11月	145,845	128,416	120,682	127,937	130,633	138,148	149,107	113,486	129,384	124,407
12月	83,889	39,743	48,321	58,565	50,089	55,109	48,413	62,074	56,343	56,666
合計	1,046,937	881,356	882,310	937,600	1,045,098	1,076,463	1,048,479	1,072,011	989,812	798,358

※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ(国際コンベンションの選定基準)のとおりとなる。

4

部門別国際コンベンションの開催状況

— 「科学・技術・自然」の部門が全体の47.3%を占める —

2007年の国際コンベンションの開催状況を部門別に見ると、最も多いのは「科学・技術・自然」の878件（構成比47.3%）、次いで「医学」の304件（同16.4%）、「芸術・文化・教育」の199件（同10.7%）、「政治・経済・法律」の192件（同10.3%）であった。「科学・技術・自然」が全体の4割を占めていることがか

ら、日本のこの部門の学術レベルの高さがうかがえる。全体の開催件数をあげる要因ともなっている。

外国人参加者数を部門別に見ると、「科学・技術・自然」が最も多く49,991人であり、次いで「医学」の24,237人である。

表1-4 部門別国際コンベンションの開催件数（1998～2007年）と外国人参加者数（2007年）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2007年 外国人参加者数
政治・経済・法律	342	460	412	431	455	401	558	360	482	192	10,634
科学・技術・自然	691	737	795	833	926	973	1,088	1,161	1,206	878	49,991
医学	390	355	446	413	367	347	432	348	412	304	24,237
産業	154	111	173	155	163	142	136	158	122	92	7,026
芸術・文化・教育	301	359	391	358	340	341	327	424	514	199	9,058
社会	248	224	197	172	185	158	139	242	113	97	2,896
運輸・観光	32	37	42	25	28	19	40	28	23	28	1,828
社交・親善	78	128	116	125	76	45	27	56	56	38	1,229
宗教	9	8	9	9	11	14	19	14	13	11	288
スポーツ	16	4	11	22	20	6	16	15	9	9	1,677
その他	154	52	97	194	112	108	114	53	55	10	856
合計	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005	1,858	109,720

表1-5 部門別国際コンベンションの構成比（1998～2007年）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
政治・経済・法律	14.1	18.6	15.3	15.7	17.0	15.7	19.3	12.6	16.0	10.3
科学・技術・自然	28.6	29.8	29.6	30.4	34.5	38.1	37.6	40.6	40.1	47.3
医学	16.1	14.3	16.6	15.1	13.7	13.6	14.9	12.2	13.7	16.4
産業	6.4	4.5	6.4	5.7	6.1	5.6	4.7	5.5	4.1	5.0
芸術・文化・教育	12.5	14.5	14.5	13.1	12.7	13.4	11.3	14.8	17.1	10.7
社会	10.3	9.1	7.3	6.3	6.9	6.2	4.8	8.5	3.8	5.2
運輸・観光	1.3	1.5	1.6	0.9	1.0	0.7	1.4	1.0	0.8	1.5
社交・親善	3.2	5.2	4.3	4.6	2.8	1.8	0.9	2.0	1.9	2.0
宗教	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.7	0.5	0.4	0.6
スポーツ	0.7	0.2	0.5	0.8	0.7	0.2	0.6	0.5	0.3	0.5
その他	6.4	2.0	3.6	7.1	4.2	4.2	3.8	1.8	1.8	0.5

※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ（国際コンベンションの選定基準）のとおりとなる。

5

規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ①

— 300人未満の国際コンベンションが全体の66.4%を占める —

2007年の国際コンベンションの開催件数を規模別（参加者数別）に見ると、100～199人が524件（構成比28.2%）と最も多かった。以下、100人未満が445件（同24.0%）、200～299人が264件（同14.2%）、300～399人が162件（同8.7%）であった。

2007年においては300人未満の国際コンベンションが全体の66.4%を占めており、小規模コンベンションが頻繁に開催されることがわかる。

「国際コンベンション1件」あたりの平均外国人参加者数を見ると、ばらつきはあるものの、全「国際コンベンション」の平均では、総参加者数の12%程度を外国人参加者が占めていることがわかる。

表1-6 規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催件数（1998～2007年）と平均外国人参加者数（2007年）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2007年 1件あたりの平均外国人参加者数
100人未満	894	1,031	1,036	1,048	925	873	1,102	1,100	1,210	445	17.3
100～199人	485	503	606	627	632	670	651	636	661	524	31.6
200～299人	295	293	337	322	368	330	345	353	365	264	53.3
300～399人	202	179	177	215	206	182	190	195	206	162	65.7
400～499人	97	96	109	107	115	90	124	104	103	78	86.0
500～599人	95	79	106	83	80	64	94	81	90	74	93.9
600～699人	59	41	49	43	47	57	63	43	62	48	154.9
700～799人	28	24	28	48	41	17	37	34	37	21	162.9
800～899人	34	30	25	28	23	33	41	40	33	26	110.4
900～999人	14	14	14	15	11	20	19	25	19	13	139.8
1000～1099人	37	34	33	31	43	40	33	55	48	39	127.4
1100～1199人	10	5	10	4	15	8	12	11	6	9	136.7
1200～1299人	12	13	17	17	15	17	21	19	17	10	115.5
1300～1399人	11	4	11	10	11	15	7	7	5	8	87.5
1400～1499人	3	4	6	7	7	4	13	5	6	9	171.6
1500～1599人	24	17	25	18	18	13	18	16	10	19	168.4
1600～1699人	6	7	2	3	5	5	6	13	7	3	46.7
1700～1799人	0	3	5	5	5	4	3	6	2	5	137.8
1800～1899人	4	1	7	3	4	2	5	6	7	6	23.5
1900～1999人	2	6	1	4	1	4	3	1	2	2	448.0
2000人以上	103	91	85	99	111	106	109	109	109	93	182.3
合計	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005	1,858	59.0

(件)

(人)

表1-7 規模別（参加者数別）国際コンベンションの構成比（1998～2007年）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
100人未満	37.0	41.7	38.5	38.3	34.5	34.2	38.1	38.5	40.3	24.0
100～199人	20.1	20.3	22.5	22.9	23.6	26.2	22.5	22.2	22.0	28.2
200～299人	12.2	11.8	12.5	11.8	13.7	12.9	11.9	12.3	12.1	14.2
300～399人	8.4	7.2	6.6	7.9	7.7	7.1	6.6	6.8	6.9	8.7
400～499人	4.0	3.9	4.1	3.9	4.3	3.5	4.3	3.6	3.4	4.2
500～599人	3.9	3.2	3.9	3.0	2.9	2.5	3.2	2.8	3.0	4.0
600～699人	2.4	1.6	1.9	1.6	1.8	2.2	2.2	1.5	2.1	2.6
700～799人	1.2	1.0	1.0	1.8	1.5	0.7	1.3	1.2	1.2	1.1
800～899人	1.4	1.2	0.9	1.0	0.9	1.3	1.4	1.4	1.1	1.4
900～999人	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.8	0.7	0.9	0.6	0.7
1000～1099人	1.5	1.4	1.2	1.1	1.5	1.5	1.1	1.9	1.6	2.1
1100～1199人	0.4	0.2	0.4	0.1	0.5	0.3	0.4	0.4	0.2	0.5
1200～1299人	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5
1300～1399人	0.5	0.2	0.4	0.4	0.4	0.6	0.2	0.2	0.2	0.4
1400～1499人	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5
1500～1599人	1.0	0.7	0.9	0.7	0.7	0.4	0.6	0.6	0.3	1.0
1600～1699人	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2
1700～1799人	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3
1800～1899人	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3
1900～1999人	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
2000人以上	4.3	3.7	3.2	3.6	4.1	4.2	3.8	3.8	3.6	5.0

(%)

※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ（国際コンベンションの選定基準）のとおりとなる。

6

規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ②

— 中・大型国際コンベンションの推移 前年に比べ2件減 —

2007年の国際コンベンションを参加者総数が300人以上、そのうち外国人参加者数が50人以上を占める「中・大型国際コンベンション」で見ると、開催件数は前年より2件減の314件であった。ま

た、外国人参加者数は、前年より59人増の66,934人であった。
 なお、中・大型国際コンベンションの各都市での開催件数については「資料編2」をご参照いただきたい。

図1-5 国際コンベンションの開催件数と中・大型国際コンベンションの開催件数の推移（1998～2007年）

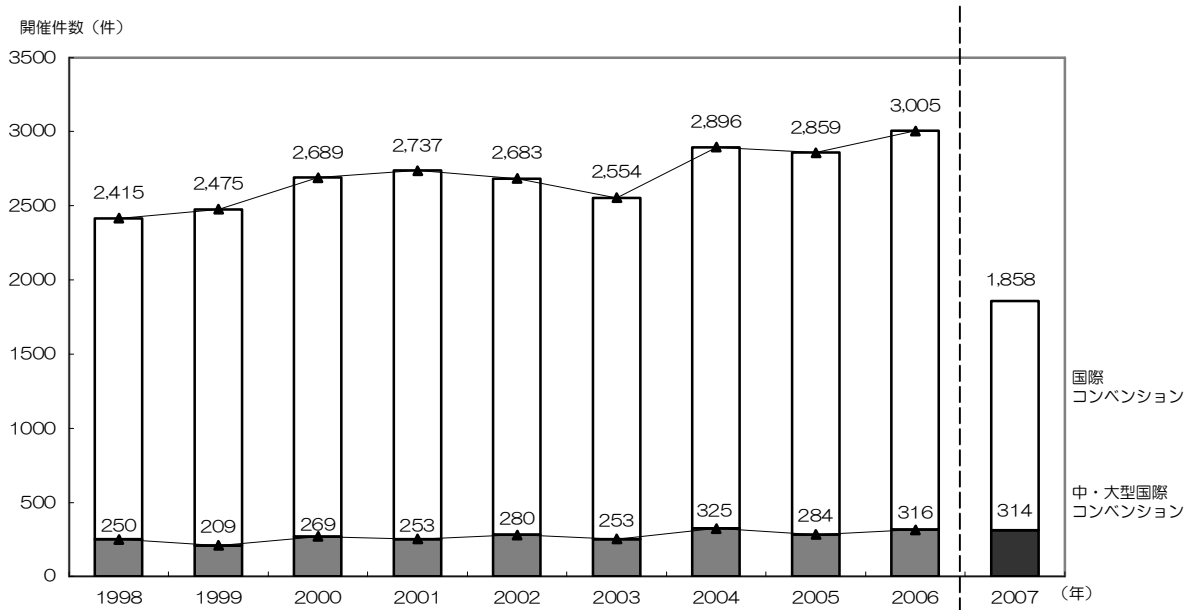
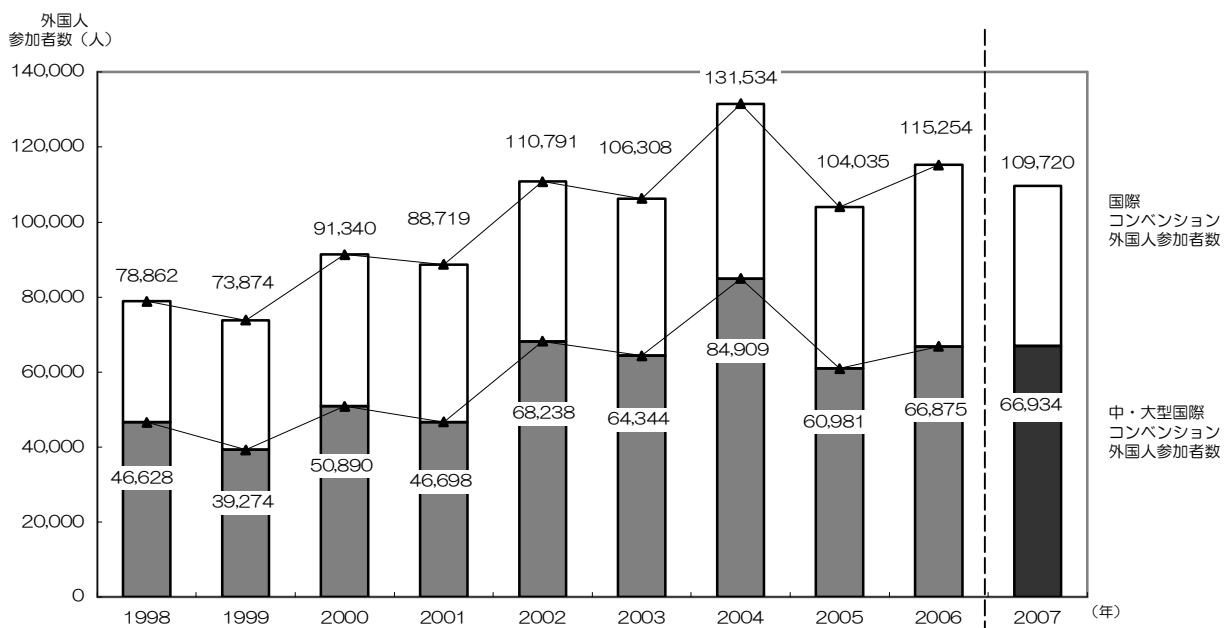


図1-6 国際コンベンションの外国人参加者数と中・大型国際コンベンションの外国人参加者数の推移（1998～2007年）



※注：1998年から2006年までは旧基準による。2007年は新基準による。基準の詳細については、2ページ（国際コンベンションの選定基準）のとおりとなる。

7

都市別国際コンベンションの開催状況

2007年の国際コンベンションの開催件数を都市別に見ると、東京（23区）が440件で最も多く、次いで京都市（183件）、横浜市（157件）、福岡市（151件）、名古屋市（109件）であった。

下記（表1-8）には上位15都市の開催件数を記載しているが、その他の都市の開催件数等については巻末の「資料編1」をご参照いただきたい。

表1-8 都市別国際コンベンションの開催件数（1998年～2007年：上位15都市を抜粋）

上段：新基準

下段：旧基準

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
東京（23区）	222	266	308	371	408	353	428	357	460	440
	436	603	705	759	793	715	733	742	744	—
京都市	105	113	108	111	145	149	170	137	154	183
	198	181	190	192	209	222	224	224	278	—
横浜市	77	62	28	15	70	41	82	105	103	157
	121	107	96	105	130	148	156	159	162	—
福岡市	66	69	104	75	77	77	76	97	126	151
	191	199	163	147	150	160	178	180	274	—
名古屋市	97	77	84	62	86	83	89	108	109	109
	194	195	200	194	167	193	193	236	194	—
神戸市	86	78	69	82	79	84	44	58	76	89
	213	178	195	207	205	168	172	177	183	—
つくば地区（注1）	13	0	67	76	55	72	56	60	64	82
	38	53	88	88	80	90	78	88	94	—
大阪市	60	65	90	83	82	80	94	89	111	76
	224	222	224	230	192	148	254	249	237	—
仙台市	26	27	54	46	41	37	43	42	45	51
	38	43	63	56	53	45	54	54	64	—
札幌市	50	54	46	46	42	46	65	54	48	44
	95	112	107	96	71	87	92	99	127	—
北九州市	27	30	45	31	18	28	30	19	28	43
	68	71	72	69	43	34	37	24	36	—
千葉市	39	21	26	19	16	34	59	38	39	42
	63	40	39	26	20	40	76	66	56	—
淡路市	0	0	27	24	24	35	39	34	21	35
	0	0	37	36	39	49	51	42	35	—
千里地区（注2）	32	31	26	25	32	39	58	35	49	32
	115	99	81	113	119	62	130	127	146	—
熊本市	8	2	5	7	5	6	4	5	22	29
	11	5	5	7	7	9	6	8	23	—

注1：「つくば地区」とは、つくば市、土浦市を指す。

注2：「千里地区」とは、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

注：1つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、それぞれの都市に1件として計上しているため、都市別の開催件数の合計は、実際の開催件数よりも多くなっている。

8

会場別国際コンベンションの開催状況

— 開催件数上位 11 会場のうち、5 会場を大学が占める —

2007年に日本で開催された国際コンベンションを会場別に見ると、最も多いのはパシフィコ横浜の89件、次いで九州大学(62件)、京都大学(61件)、つくば国際会議場(58件)、東京大学(42件)、国立京都国際会館(37件)、淡路夢舞台国際会議場(35件)、国連大学(34件)、名古屋大学(32件)、神戸国際会議場(29件)、北海道大学(29件)であり、開催件数上位11会場のうち、5会場を大学が占めている。

また、参加者総数で見ると、最も多いのがパシフィコ横浜の166,768人、以下、東京ビッグサイト(64,292人)、大阪国際会議場(48,974人)、神戸国際会議場(45,078人)、神戸ポートピアホテル(39,132人)であった。

また、外国人参加者数は、最も多いのがパシフィコ横浜で10,954人、次いで国立京都国際会館(8,905人)、大阪国際会議場(5,253人)、神戸国際会議場(4,467人)、北九州国際会議場(3,360人)であった。

表1-9 会場別国際コンベンションの開催状況(2007年)

会場名	開催件数	外国人参加者数	国内参加者数	参加者総数
パシフィコ横浜	89	10,954	155,814	166,768
九州大学	62	1,142	9,195	10,337
京都大学	61	2,370	8,151	10,521
つくば国際会議場(エボカルつくば)	58	2,438	25,662	28,100
東京大学	42	1,985	5,672	7,657
国立京都国際会館	37	8,905	25,655	34,560
淡路夢舞台国際会議場	35	771	4,144	4,915
国連大学	34	816	5,932	6,748
名古屋大学	32	607	6,479	7,086
神戸国際会議場	29	4,467	40,611	45,078
北海道大学	29	709	5,113	5,822
仙台国際センター	27	1,438	21,742	23,180
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)	26	5,253	43,721	48,974
名古屋国際会議場	26	2,256	33,009	35,265
福岡国際会議場	22	2,372	11,883	14,255
大阪大学	22	651	3,734	4,385
北九州国際会議場	21	3,360	13,171	16,531
三田共用会議所	21	721	1,975	2,696
幕張メッセ	20	1,142	11,859	13,001
早稲田大学	20	807	4,065	4,872
京王プラザホテル	18	1,881	10,003	11,884
神戸大学	18	258	2,203	2,461
熊本大学	17	259	3,571	3,830
東京ビッグサイト	16	1,830	62,462	64,292
アクロス福岡	16	380	4,439	4,819
湘南国際村センター	16	863	757	1,620
日本科学未来館	15	790	5,184	5,974
大阪市立大学	15	332	2,275	2,607
朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)	13	786	8,113	8,899
奈良県新公会堂	13	1,279	4,508	5,787
京都テルサ	13	735	4,520	5,255
神戸ポートピアホテル	12	2,743	36,389	39,132
立命館大学	12	265	1,918	2,183
東京国際フォーラム	11	2,371	14,281	16,652
千葉大学	11	294	1,289	1,583
JALリゾートシーホークホテル福岡	10	783	3,285	4,068

注1：本表では、複数会場を利用して開かれた同一会議は、会場をベースに集計してある。

注2：本表では大学等の付属施設は大学での開催件数に含めている。